

第 110 回 学長定例記者会見

日時：令和元年6月25日（火）10：30～11：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5階 5F2 会議室

※テレビ会議システムにより、記者会見の様子を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 総合校舎2階 第9 演習室

※YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 平成30年7月豪雨災害から1年を迎えるにあたり豪雨災害調査団
公開最終報告会を開催します（7/5）
2. 大学院統合生命科学研究科・医系科学研究科設置記念式典および統合生命
科学研究科開設記念シンポジウムを開催します
（式典：7/20、シンポ：6/30）
3. 2019年度広島大学平和センター国際シンポジウム
「HIROSHIMA とピースツーリズム」を開催します（7/20）
4. 第1回良縁創出プロジェクト「広大100人論文」を開催しています
（開催期間）令和元年6月24日～28日
5. 大学院教育学研究科氏間研究室と広島大学図書館による発達障害等の
小中高生への音声教材の製作・提供を行います

【お知らせ】

1. 広島大学研究拠点を新たに認定
— インキュベーション研究拠点1件を認定 —
2. 大学院教育学研究科日本語教育学講座創設30周年記念
『日本語教育へのいざない—「日本語を教える」ということ—』を出版
3. 体育会剣道部が西日本女子学生剣道大会で創部以来初の準優勝を
果たしました
4. 広島大学タマチラボ「“ゲノム編集”で未来社会を拓く」の第1回「ゲノム
編集技術の限りない可能性」を開催します（7/2）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和元年7月下旬

場所：広島大学 霞キャンパス



令和元年 6 月 25 日

平成 30 年 7 月豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり
豪雨災害調査団 公開最終報告会を開催します

広島大学は、「平成 30 年 7 月豪雨災害」発災直後の、平成 30 年 7 月 11 日に、広島大学長を団長とした「広島大学平成 30 年 7 月豪雨災害調査団」を設置し、活動を行なってきました。

来月 6 日に豪雨災害から 1 年を迎えるにあたり、豪雨災害調査団のこれまでの活動を総括するため、最終報告会を 7 月 5 日に広島大学東千田キャンパスにおいて開催いたします。

豪雨災害調査団では、学内の防災研究分野の専門家の力を集結して、土石流・斜面災害、水文気象・洪水・氾濫、生活インフラ被害、公衆衛生・災害医療などについて専門的見地から調査に取り組んでいます。

日時：令和元年 7 月 5 日（金）13:30～15:00

場所：広島大学東千田キャンパス未来創生センター M202 講義室
（〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目 1 番 89 号）

出席者：

藤原章正（国際協力研究科教授／副団長、生活インフラ被害班長）

土田 孝（防災・減災研究センター長／土石流・斜面災害班長）

海堀正博（総合科学研究科教授／土石流・斜面災害班）

河原能久（工学研究科教授／水文気象・洪水・氾濫班長）

大毛宏喜（病院副病院長／公衆衛生・医療班長）

内容：

豪雨災害調査団 1 年の活動まとめ

調査研究報告（各班）

質疑応答

【お問い合わせ先】

社会産学連携室

社会産学連携グループ 三戸

TEL:082-424-5871

令和元年 6 月 25 日

**大学院統合生命科学研究科・医系科学研究科設置記念式典
および統合生命科学研究科開設記念シンポジウムを開催します**

本学は、科学技術の急速な発達、グローバル化の進展、価値観の多様化と衝突など、世界が激しく変化する状況の中で、持続可能で平和な共生社会の実現に貢献する新たな知識や価値の創造、イノベーション創出を担う人材を育成するため、平成 31 年 4 月 1 日に大学院統合生命科学研究科及び大学院医系科学研究科を設置しました。

この度、新研究科設置を記念して、2018 年にノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶 佑氏による記念講演会及び記念式典を以下のとおり開催いたします。

【開催日】

令和元年 7 月 20 日（土）

【場 所】

リーガロイヤルホテル広島 4 階 ロイヤルホール

【内 容】

(1) 記念講演会（11 時～12 時）

講演者：京都大学高等研究院副院長・特別教授 本庶 佑 氏

(2) 記念式典（12 時 10 分～12 時 30 分）

また、統合生命科学研究科では今年の 4 月に開設されたことを記念して「開設記念シンポジウム」を以下のとおり開催いたします。

セミナーにはどなたでも参加いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日】

令和元年 6 月 30 日(日) 10 時 30 分～17 時

【場 所】

広島大学教育学部 K201 講義室（東広島キャンパス）

【お問い合わせ先】

○記念講演会および記念式典に関すること

財務・総務室総務グループ

TEL:082-424-6016 FAX:082-424-6020

○統合生命科学研究科開設記念シンポジウムに関すること

大学院統合生命科学研究科

生物学系支援室（総務・人事担当）

TEL:082-424-7904 FAX:082-424-2459



広島大学

日時 6/30 日

令和元年(2019年)

10:30-17:00 (開場 10:00)

場所: 教育学部棟 K201 講義室 (東広島キャンパス)

※地図等は下記ホームページQRコードからご参照ください

■ 出入り自由。事前申し込みは必要ありません。

参加無料

統合生命科学研究科 開設記念シンポジウム ゲノムから地球環境まで

プログラム

- 10:30- ● **開会挨拶**
西村 善文 広島大学 大学院統合生命科学研究科長
- 10:40- ● **ゲノム編集が拓く生命科学の未来**
山本 卓教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科
数理生命科学プログラム・生命医科学プログラム
- 11:10- ● **新しいイモリが可能にする次世代の器官再生の研究
生物学から再生医療への挑戦**
林 利憲教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科
生命医科学プログラム・基礎生物学プログラム
- 11:40- ● **自己崩壊する熱帯雨林**
山田 俊弘教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科 生命環境総合科学プログラム
- 12:10-13:00 ● 休憩
- 13:00- ● **DNA 配列に依存しない遺伝子制御機構
「エピジェネティクス」の構造基盤**
胡桃坂 仁志教授 東京大学 定量生命科学研究所
- 13:40- ● **進化工学を利用した環境バイオセンシング**
黒田 章夫教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科 生物工学プログラム
- 14:10- ● **メンデルの遺伝子とステイグリーン野菜**
草場 信教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科 基礎生物学プログラム
- 14:40- ● **海洋生態系を支える小さな藻類たち**
小池 一彦教授 広島大学 大学院統合生命科学研究科 生物資源科学プログラム
- 15:10-15:20 ● 休憩
- 15:20-17:00 ● 研究科開設(学生向け)イベント

シンポジウムHP



問い合わせメール



お問い合わせ先

広島大学大学院統合生命科学研究科 生物学系支援室(総務・人事担当)

TEL: 082-424-7904 FAX: 082-424-2459 E-mail: sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp



令和元年6月25日

2019年度広島大学平和センター国際シンポジウム
「HIROSHIMA とピースツーリズム」を開催します

被爆から 74 年、「国際平和文化都市・広島」のメッセージは、ツーリズムを通じて国内外に広く伝えられ、継承され、ゆっくりと熟成しながら社会の深層心理に働きかけてきました。いわば、市民参加型の核の抑止力です。

ピースツーリズムは、人の移動と出会いを促し、地域の発展、国際交流・相互理解、社会の再構築を促進する可能性を秘めています。観光者が「記憶の場」を実体験し、平和メッセージを受け止め、自主的な行動を起こすとき、国境を超えた平和が構築されます。

本シンポジウムでは、世界のピースツーリズム研究・実践の第一線で活躍する専門家を招き、ツーリズムを介した戦争体験の記憶継承の可能性、さらには、ツーリズムが平和構築に果たす役割について考えます。

【日時】2019年7月20日（土）13時～17時15分

【会場】広島国際会議場 地下2階 ヒマワリ

【対象】どなたでも

【講演者】

山田義裕（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院前院長）

マイク・ロビンソン（バーミンガム大学アイロンブリッジ国際文化遺産研究所所長、英国学士院 Levant 英国研究審議会役員・理事、UNESCO 世界遺産と持続可能な観光専門家委員会委員）

チョン・グンシク（ソウル国立大学社会学部教授）

ルリ・ファン・デル・ドゥース（広島大学平和センター准教授）

志賀賢治（広島平和記念資料館前館長）

【参加費】無料

【申し込み方法】

電話、郵便はがき、FAX 又は E-mail で氏名、連絡先、手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨を、広島大学平和センターへご連絡下さい。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は7月10日（水）迄にお願い致します。）

【お問い合わせ先】

平和センター

TEL:082-542-6975 FAX:082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp



広島大学平和センター主催 2019年度国際シンポジウム

広島平和文化センター広島国際会議場 (30周年記念事業)、 広島平和記念資料館
北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院、 ソウル国立大学 共催

2019 International Symposium
HIROSHIMA and Peace Tourism
2019년 국제 심포지엄 히로시마와 평화관광

広島
ヒロシマ
HIROSHIMA と
広島
ピース
ツリーズ
ム

2019. 7. 20 13:00~17:15

広島国際会議場「ヒマワリ」

HIMAWARI hall

International Conference Center Hiroshima

해바라기 히로시마 국제회의장

参加無料 Admission Free 참가비 무료

日・韓・英 同時通訳あり

JP/KR/EN Simultaneous Interpretation

한국어 일본어 영어 동시 통역

日本語手話通訳・要約筆記申し込み:7月10日(水)必着

参加申し込み・お問合せ: 広島大学平和センター

〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89 電話 082-542-6975

Fax 082-245-0585 E-メール heiwa@hiroshima-u.ac.jp



国際シンポジウム「HIROSHIMAとピース・ツーリズム」

2019年7月20日(土) 13:00-17:15 (12:30 開場・受付)

広島国際会議場 ヒマワリ 参加無料



司会進行：友次晋介 広島大学平和センター准教授 Moderator: Shinsuke Tomotsugu, Associate Professor The Center for Peace, Hiroshima University

13:00-13:15 開会のあいさつ・趣旨説明 Opening Address & Introduction



川野徳幸 広島大学平和センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学センター准教授、2013年から同センター教授、2017年4月より現職。専門は原爆・被ばく研究、平和学。Professor Noriyuki KAWANO (PhD). Director of the Center for Peace, Hiroshima University.

13:15-13:25 共催者挨拶 Co-host's Remarks



西川克之 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 院長、同大学院国際広報メディア・観光学院 学院長・教授。北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。専門は観光社会文化論、近代イギリス研究。Professor Katsuyuki NISHIKAWA. Professor and Dean of the Research Faculty of Media and Communication / Graduate School of International Media, Communication and Tourism Studies, Hokkaido University.

13:25-13:55 平和観光における「偶有性」と「連帯」 "Contingency" and "Solidarity" in Peace Tourism



山田義裕 北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 前院長、同大学院国際広報メディア・観光学院 前学院長・教授。北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻博士後期課程単位取得退学。同研究科助手、同大学言語文化助教授、同大学国際広報メディア研究科教授を経て、2004年より現職。専門は、観光文化論および、観光創造の他者論とコミュニケーション論。Professor Yoshihiro Yamada. Professor and Former Dean of the Research Faculty of Media and Communication / Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies, Hokkaido University.

13:55-14:05 休憩 (10分) Coffee Break

14:05-14:35 基調講演：石に学ぶ～古きものに新たな物語を

Keynote Lecture: Learning from Stones: Providing New Narratives for Old Things



マイク・ロビンソン バーミンガム大学アイロンブリッジ国際文化遺産研究所 所長・教授。UNESCO/UNITWIN 観光・文化・開発ネットワーク委員。英国学士院 Levant 英国研究審議会役員・理事。UNESCO世界遺産と持続可能な観光専門家委員会委員などを歴任。Professor Mike ROBINSON (PhD). Professor Robinson is full Professor of Cultural Heritage, University of Birmingham, UK and Director of the Ironbridge International Institute for Cultural Heritage. For over thirty years he has worked in over 30 countries at the intersections between heritage, tourism and culture and has worked with UNESCO on several projects.

14:35-15:05 特別講演：韓国の冷戦景観とピース・ツーリズム Special Lecture: Cold War Landscape and Peace Tourism in South Korea



チョン・グンシク 정근식ソウル国立大学社会学部教授。統一平和研究院 前院長。北東アジア研究センター 前センター長。Professor Keun-Sik JUNG (PhD). Professor of Sociology, Department of Sociology at Seoul National University. He has served as the Chair of the Senate of Seoul National University (2013~15), Chair of Korean Oral History Association (2015~16), Chair of Korean Cold War Studies Association (2015~17), Head of the Northeast Asian Institute, SNU Asia Center, and Director of the Institute of Unification and Peace Studies at Seoul National University (2016~18).

15:05-15:15 休憩 (10分) Coffee Break

15:15-15:45 ピース・ツーリズムと当事者性・居場所感 Peace Tourism and Personal Relevance



ファン・デル・ドゥース ルリ 広島大学平和センター准教授。エジンバラ大学応用言語学部教員、ケンブリッジ大学応用言語学部 Chevening 研究員、シェフィールド大学社会科学院東洋学部講師、日本学術振興会特別研究員などを経て、2019年4月より現職。多領域横断手法を用いて原爆・被爆体験と戦争記憶の市民参加型継承を探究。Dr. Luli van der DOES, Associate Professor (PhD), the Center for Peace, Hiroshima University.

15:45-16:15 ヒロシマの未来と資料館の役割～世界史的視座から

HIROSHIMA's Future and the Role of Hiroshima Peace Memorial Museum: A Global Historical Viewpoint



志賀賢治 広島市役所社会局地域福祉課監査指導室長、企画総務局情報政策担当部長、広島市立大学事務局長、健康福祉局長、人事委員会事務局長などを歴任し、2013年広島市役所退職。2019年3月まで広島平和記念資料館館長。在職中、原爆体験の記憶の継承を目的とした博物館のネットワーク構築と相互交流を意欲的に展開。Mr. Kenji SHIGA, Former Director of Hiroshima Peace Memorial Museum (2014~19).

16:15-16:25 休憩 (10分) Coffee Break

16:25-17:05 総合討論 (コーディネーター 片柳真理) Panel Discussion (Chaired by: Mari Katayanagi)



片柳真理 広島大学大学院国際協力研究科 副研究科長・教授。同大学平和センター 副センター長。国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官、在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本大使館専門調査員、ボスニア・ヘルツェゴビナ上級代表事務所政治顧問、JICA 研究所主任研究員、広島大学准教授を経て、2015年4月より同大学教授。Professor Mari KATAYANAGI, (PhD.) Professor/Vice Dean, Graduate School for International Development and Cooperation, Hiroshima University. Vice Director, The Center for Peace, Hiroshima University.

17:05-17:15 閉会のあいさつ Closing Address



越智光夫 広島大学学長。2007年~11年広島大学病院長、2008~11年理事、2011~12年理事・副学長を歴任。2015年4月より現職。2010年に文部科学大臣表彰「科学技術賞」、2014年に産学官連携功労者表彰「厚生労働大臣賞」、2015年に紫綬褒章を受賞。医学博士。Dr. Mitsuo OCHI (M.D. PhD), President of Hiroshima University since April 2015.



ご氏名	<お申し込み先> 広島大学平和センター 〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89 電話 082-542-6975 Fax 082-245-0585 Eメール heiwa@hiroshima-u.ac.jp	
ご連絡先		
手話通訳・要約筆記	いる	いない



令和元年 6 月 25 日

第 1 回 良縁創出プロジェクト『広大 100 人論文』を
開催しています

広島大学は、研究者に交流の場を提供するイベント『広大 100 人論文』を下記のとおり開催しています。

イベント会場では、事前に参加登録した研究者（ポスター掲示者）の研究紹介・コラボしたいこと・提供できる知やスキルに関する内容がポスターで掲示され、それに対するコメントを来場者（会場コメント参加者）が付箋でポスターに貼ります。それらの情報は、ポスター掲示期間終了後、参加者のみがアクセスできる web サイトに掲載され、参加者同士がオンラインで交流します。

また、本イベントの輪をより一層広げていくため、広島大学も参画する「東広島市産学金官連携推進協議会」とも連携し、より多様な関係者を巻き込んだ形で第 2 回目のイベントを年末に開催する予定です。

記

【ポスター掲示期間】

2019 年 6 月 24 日（月）～28 日（金）10：00～18：00

※ 初日のみ 13：00 開始

【会場】

広島大学 東広島キャンパス 学士会館 2 階 レセプションホール

【イベントHP】

<http://100nin-ronbun.hiroshima-u.ac.jp/>

【対象】

ポスター掲示者：研究者

会場コメント参加者：どなたでも

※本イベントは、2015 年から京都大学で「あなたの不得意は誰かの得意。そして逆に、あなたの得意は誰かの不得意。」として毎年開催されている学際的研究を創出するイベント「学内良縁プロジェクト 京大 100 人論文」を参考にしたイベントを広島大学でも行うものです。

【お問い合わせ先】

学術室

研究企画室 宮良

TEL:082-424-2057 FAX:082-424-4592

6/14 (金) まで

意外な出会いから、
研究の可能性を広げませんか

第一回 良縁創出プロジェクト

広大 100人 論文

あなたの得意は、誰かの不得意。あなたの不得意は、誰かの得意
Give & Take の共同研究者さがし

この **3** つの設問を出し合って、良縁を生み出すプロジェクトです

- 1 「私の研究はこんな感じです」 他分野でもわかるように簡単に説明
- 2 「こんなコラボできたら嬉しい」 目標や希望、困っていること等
- 3 「私、こんなことができます」 提供できる知やスキルなど

「広大100人論文」HP



<http://100nin-ronbun.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学で開催する、分野横断研究促進と知り合いづくりを促進するプロジェクトです。参加者が各自の得意なことや悩みを出し合い、分野を超えたコラボを創出！

第一回 良縁創出プロジェクト

【“京大100人論文”に関する情報】

昨年度はのべ閲覧者454名

コメントが書き込まれた付箋紙の総数1,123個

広大100人論文

各研究者ごとに匿名にて3つの設問を掲示し、協力可能な伝達や質問、コメント、アドバイスがある場合など付箋紙に記入

概要

- ポスター掲示を希望する研究者・大学院生（博士後期課程）（**ポスター掲示者**）は、「3つの設問」に回答。事務局が会場に整理番号と共にポスター掲示。**名前・所属等は非公開**。
- 来場した**研究者、学生、大学職員、企業人、一般の方**（**会場コメント参加者**）は、整理番号を書いた付箋紙でポスターに自由にコメント！**ポスター掲示者もコメント可**！
- 掲示会場は**静かなお祭り**。落ち着いたBGMとフリードリンクをご用意！
- 後日、**ポスター掲示者**と**会場コメント参加者**がWeb上で整理番号を使って自由に交流！連絡先交換も可能。（事務局がコラボを進める場合もあり。その際は**ポスター掲示者**を優先）
- **社会産学連携室**と連携。企業も含めた学内外の人・組織へのコーディネーションも！

掲示会場・開催期間

広島大学 東広島キャンパス
学士会館2階 レセプションホール

2019.6.24月～28金

いずれも10～18時（初日は13時開場予定）

事前登録締切

2019.6.14金 24:00

※期間中、
いつでも来場可！

フェーズ1

事前登録

会場で
コメント・交流
(匿名)

フェーズ2

フェーズ3

専用オン
ライン
サイトで交流

6/28金 18～20時
交流会開催！

※要事前登録

学生：500円

その他：1,000円

登録

フォーム

※交流会参加登録も
こちらから

ポスター掲示者

対象：ポスター掲示を希望
する研究者・大学院
生（博士後期課程）

<https://forms.gle/2nw9bBF1LUgd5mA69>



会場コメント参加者

対象：どなたでも

※当日参加も可

<https://forms.gle/TzekerBUy7Dn9WgPB6>



【お問合せ】 広島大学 学術室 研究企画室

担当：宮良、福本、磯部

(外線：082-424-2057/ 5669/ 4532

内線：東広島 2057/ 5669/ 4532)

Email：100nin.ronbun.hu@gmail.com

(English information available.)

主催：広島大学学術室研究企画室

協力：京都大学学際融合教育研究推進センター

参考：京大100人論文

<http://www.cpiet.kyoto-u.ac.jp/2017/01/100nin-ronbun/>

令和元年 6 月 25 日

大学院教育学研究科 氏間研究室と広島大学図書館による
発達障害等の小中高校生への音声教材の製作・提供を行います

広島大学大学院教育学研究科 氏間和仁准教授は、文部科学省初等中等教育局委託研究 平成 31 年度「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究」を受託し、広島大学図書館と連携して音声教材「文字・画像つき音声教材」の製作・提供を行います。音声教材とは、読み上げ機能を有する、教科書のことです。対象は、小中高等学校に在籍する発達障害等（文字の読みが困難な状態）の全ての児童生徒です。

これにより、大学として全国の小中高等学校の児童生徒の学習環境の改善とアクセシビリティの向上に取り組んでいきます。

<広島大学が提供する「文字・画像付き音声教材」の特徴>

文字サイズ・配色・書体等の変更が可能なテキストを合成音声で読み上げます。読み方を指定しているため合成音声であっても正確に読み上げます。単語の辞書検索も可能です。音声読み上げ中、同じページ番号の原本教科書画像データに表示切り替え可能なため、授業中、授業をしている教師の指示に対応しやすくなります。

iPad、iPhone などの iOS 機器に、UD ブラウザ（無料アプリ）をインストールして、「文字・画像付き音声教材」を再生します。

申請方法については、以下 URL または QR コードでホームページへアクセスして、様式を入手してください。

○関連ホームページ

https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/onsei_index.html



【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科

准教授 氏間 和仁

TEL : 082-424-7175 FAX : 082-424-7180

E-mail : ujima@hiroshima-u.ac.jp

文部科学省初等中等教育局調査研究
平成31年度「音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究」



まずは、
氏間研究室HPに
アクセス！

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/ujima/>

発達障害等のある小中高校生を対象に

文字・画像付き音声教材

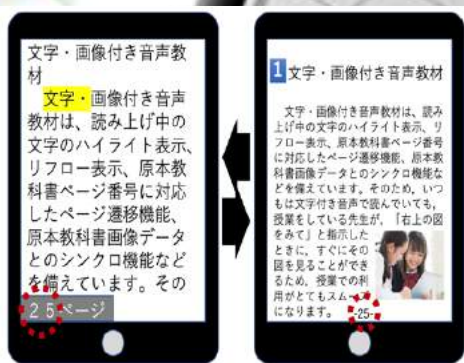
読み上げ機能のついた教科書
を提供します。

音声教材とは、発達障害等の障害により検定教科書において一般的に使用されている文字や図形などを認識することが困難な児童生徒のため、教科用特定図書等として製作された教材です。

文字・画像付き音声教材とは

サイズ・配色・書体等の変更が可能なテキストを合成音声で読み上げます。読み方を指定しているため正確に読み上げます。単語の辞書検索も可能。音声読み上げ中、同じページ番号の原本教科書画像データに表示切り替え可能なため、授業中、授業者の指示に対応しやすくなります。小中学校を中心に製作しています。

iPad, iPhoneなどのiOS機器を利用します。
UDブラウザ（無料アプリ）で再生します。



読み上げモード

原本画像モード



無料で利用できます。
App Storeで入手してください。

文字・画像付き音声教材の特徴

- ・EPUBデータの表示（文字を選択して辞書を引けます）
- ・EPUB読み上げ中のテキストのハイライト機能
- ・画面幅で文字が折り返すリフロー機能
- ・原本教科書のページ番号によるページ遷移機能
- ・EPUBで表示中のページから、原本教科書画像を表示する原本教科書同期機能

申請方法

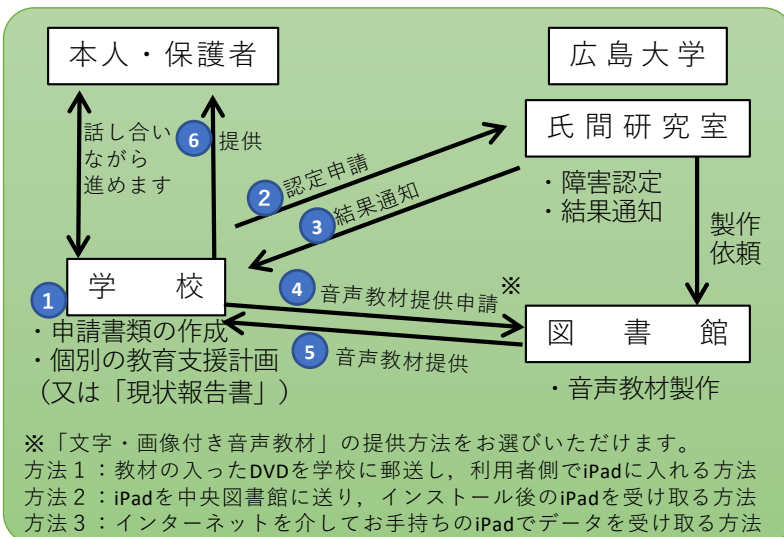
各学校から、広島大学氏間研究室に申請します。

- 1 各学校で、氏間研究室ホームページから書式を入手して、作成し、送付します。
- 2 障害の認定は、各学校が作成する「個別の教育支援計画」または学校長が作成する「現状報告書」の障害認定書類により行います。
- 3 申請書類と、障害認定書類を広島大学 氏間研究室に郵送します。
※申請書類と障害認定書類については、個人情報を含みますので、利用者・保護者の了承を得て、学校から郵送してください。

- 4 申請受理後、(1)お持ちのiOS機器を広島大学中央図書館に送付してインストールする方法、(2)DVDを受け取って申請者側でインストールする方法、(3)インターネット経由で受け取る方法のどれか一つの方法で音声教材を受け取ります。（DVDの返却は不要です。）

※障害認定申請が受理されなかった場合、書類はお返しいたします。

- 5 調査研究で実施していますので、アンケート調査等および学校に赴いての利用状況調査へのご協力をお願いしております。



広島大学から、
全国の小中高等学校で学ぶ
障害のあるみなさんへ、
音声教材をお届けします。

文字・画像付き音声教材の申請方法

ステップ1 各学校から、広島大学氏間研究室に「認定申請」

- 各学校で、氏間研究室ホームページから書式を入手して、記入します。
- 申請書類および82円切手貼付の返信用封筒を下記宛に送付します（簡易書留）。
- 送付先 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号
広島大学大学院教育学研究科 氏間和仁

ステップ2 申請者の障害認定

- 障害の認定は、申請時に提出された「個別の教育支援計画」、または学校長が作成する「現状報告書」により行います。
- 障害認定通知書を返信用封筒に入れて、氏間研究室から発送します。

ステップ3 各学校から中央図書館に「提供申請」

- 障害認定後、(1)音声教材提供申請書をメールにて送付します。
提供方法は以下の3つから選べます。
 - iPadを送る方法：iPadを広島大学に送付して、音声教材を入れた状態で返信します。郵送料は申請者負担です。
 - DVDで提供する方法：120円切手※を送付していただき、音声教材を入れたDVDを返信する方法です。インストールは全て申請者が行います。
 - インターネット配信：インターネットを介して音声教材を受け取る方法です。利用するiPad等がインターネットに接続する必要があります。
- ご不明な点はお問い合わせください。

※値上がり後は相当の切手を送付してください。

ステップ4 提供

- お送りいただいたiPad、またはDVD、アクセス情報を送付します。

ステップ5 調査への協力

- 調査研究の委託研究ですので、アンケート調査や使用実態調査（学校の見学）、年度末の報告書へのご協力をお願いしております。

Q&A

Q 個人情報の保護のため、個別の教育支援計画などを提供できないのですが、どうしたらよいですか。

A 個人情報の扱いは当該の本人および保護者が決める内容です。本事業で音声教材をうけるために個別の教育支援計画の提供を本人および保護者が認めた場合は、それを尊重することが必要かと思われま

Q 障害認定が認められなかった場合はどうなりますか。

A 音声教材を提供できません。その場合は、申請書類一式をお返しいたします。

Q 文字・画像付き音声教材を利用するのはiPadだけですか？

A 現在は、iPad、iPadpro、iPhoneなどで動作するUDブラウザを利用することから、iOS機器でのみ利用できます。



令和元年6月25日

広島大学研究拠点を新たに認定
— インキュベーション研究拠点 1 件(次世代太陽電池研究拠点)を認定 —

広島大学は、平成 26 年度から長期的に本学の顔となることを期待できる「自立型研究拠点」及び中長期的に自立型研究拠点を目指す研究者（分野）のグループである「インキュベーション研究拠点」を認定し、大学として重点的な研究支援を行っています。

今年度、新たにインキュベーション研究拠点 1 件を認定しました。

なお、第 1 期自立型拠点及びインキュベーション研究拠点について、それぞれ継続・認定終了、および昇格の可否の評価を行いました。

新規認定年度	認定状況（令和元年現在）		認定・評価状況	
	自立型研究拠点 (10 拠点)	インキュベーション研究拠点 (15 拠点)	自立型研究拠点	インキュベーション研究拠点
平成 26 年度 (1 期)	2	1	新規：3 終了：1 (発展的解消) 継続：2	新規：7 終了：2 継続：1 昇格：4
平成 27 年度 (2 期)	1	2	新規：1	新規：6 終了：4 継続：2
平成 28 年度 (3 期)	2	4	新規：2	新規：4
平成 29 年度 (4 期)	4	4	新規：1 昇格：3 ←	新規：4
平成 30 年度 (5 期)	0	3		新規：3
令和元年度 (6 期)	1	<u>1</u>	昇格：1 ←	<u>新規：1</u>

本学は、平成 25 年度文部科学省「研究大学強化促進事業」に 22 機関の 1 つとして研究大学に選定されています。この研究力強化の取組の一つとして「世界的研究拠点の継続的創出」を図っています。

認定された研究拠点は、活発な国際研究活動を通じた国際研究ネットワークの形成により国際発信力を向上し、本学の国際的評価の飛躍的な向上に寄与することを期待できます。今後、総合研究大学の強みを生かし、多様な研究拠点を形成するとともに、国際研究ネットワーク形成により多様な人材が活発に活躍する場として発展し、教育研究活動を通じて国際社会、地域社会において存在感のある大学への展開をめざしています。

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室

研究企画室 小左古 学

TEL:082-424-5860 FAX:082-424-4592

世界トップクラスを目指す研究拠点

世界のトップクラスの研究大学になるためには、国際展開力・発信力を強化していく必要があります。その中心的役割を担う1つの研究拠点を新たに選出しました。

■第6期(平成30年度公募)広島大学研究拠点(1拠点)

(インキュベーション拠点(1拠点))

次世代太陽電池研究拠点

拠点リーダー

尾坂 格(工学研究科)

研究分野

理・工(生物系以外)

活動内容

有機化学の人・知・技を結集し、革新的機能性有機材料の開発と高効率塗布型有機薄膜太陽電池の創出により、再生可能エネルギーの普及と拡大に貢献する。
具体的には、半導体特性を有する有機高分子材料の設計・合成と構造制御により、有機薄膜太陽電池の高効率化に挑む。

広島大学研究拠点一覧(第1期～第6期)

自立型研究拠点(10拠点)

期	公募年度	選定年度	拠点名称(日)	拠点名称(英)	拠点リーダー	分野
第1期(昇格)	25	31	広島大学健康長寿研究拠点	Hiroshima Research Center for Healthy Aging	統合生命科学研究科 教授・河本 正次	医療系
第1期(継続)	25	31	クロマチン動態数理研究拠点	Research Center for the Mathematics on Chromatin Live Dynamics	統合生命科学研究科 教授・楯 真一	理・工(生物系)
第1期(継続)	25	31	肝臓・消化器研究拠点	Liver Research Project Center in Hiroshima	医系科学研究科 教授・茶山 一彰	医療系
第4期	28	29	創薬・バイオマーカー拠点	The Research Center for Drug Development and Biomarker Discovery	医系科学研究科 教授・田原 栄俊	医療系
第1期(昇格)	25	29	キラル物性研究拠点	Chirality Research Center	理学研究科 教授・井上 克也	理・工(材料系)
第1期(昇格)	25	29	極限宇宙研究拠点	Core of Research for Energetic Universe	理学研究科 教授・深沢 泰司	理・工(材料系)
第1期(昇格)	25	29	基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーショナル型研究拠点-日本型(発)畜産・酪農技術開発センター-	The Research Center for Animal Science	統合生命科学研究科 教授・吉村 幸則	理・工(生物系)
第3期	27	28	窒素循環エネルギーキャリア(Nキャリア)研究拠点	Research Center for Nitrogen Recycling Energy Carrier	先進機能物質研究センター 教授・小島 由継	理・工(材料系)
第3期	27	28	うつ病の革新的診断・治療法開発研究拠点	Research Center for Innovative Diagnosis and Treatment of Depression	脳・こころ・感性科学研究センター 特任教授・山脇 成人	医療系
第2期	26	26	社会実装指向型HiSENS 拠点	HiSENS Research Center	工学研究科 教授・石井 抱	理・工(材料系)

インキュベーション研究拠点(15拠点)

期	公募年度	選定年度	拠点名称(日)	拠点名称(英)	拠点リーダー	分野
第6期	30	31	次世代太陽電池研究拠点	Center for Next Generation Photovoltaics	工学研究科 教授・尾坂 格	理・工(材料系)
第5期	29	30	ダイバーシティ&インクルージョン科学の構築と実践のための研究拠点	Developing science and technology for diversity and inclusion	総合科学研究科 教授・坂田 桐子	人文・社会・教育
第5期	29	30	バイオジェニックナノマテリアル融合研究拠点	Consolidated research for biogenic nanomaterials	統合生命科学研究科 准教授・岡村 好子	理・工(材料系)
第5期	29	30	MBR拠点	MBR Center	工学研究科 教授・大下 浄治	理・工(材料系)
第4期	28	29	教育ヴィジョン研究センター	Educational Vision Research Institute	教育学研究科 教授・草原 和博	人文・社会・教育
第4期	28	29	「光」ドラッグデリバリー研究拠点	Hiroshima Drug-Delivery Research Center Using	理学研究科 教授・安倍 学	理・工(材料系)、 医療系
第4期	28	29	プレート収束域の物質科学研究拠点	Hiroshima Institute of Plate Convergence Region Research	理学研究科 教授・井上 徹	理・工(材料系)
第4期	28	29	次世代を救う 広大発 Green Revolution を創出する植物研究拠点	The Research Core for Plant Science Innovation	統合生命科学研究科 教授・和崎 淳	理・工(生物系)
第3期	27	28	医療経済研究拠点	Hiroshima Institute of Health Economics Research	社会科学部 教授・角谷 快彦	人文・社会・教育
第3期	27	28	エネルギー超高度利用研究拠点	Advanced Core for Energetics	工学研究科 教授・西田 恵哉	理・工(材料系)
第3期	27	28	創発的物性物理研究拠点 -対称性の破れから量子位相へ-	Center for Emergent Condensed-Matter Physics in Hiroshima University	理学研究科 教授・木村 昭夫	理・工(材料系)
第3期	27	28	機能性ナノ酸化物研究拠点	Center for Functional Nano Oxide	工学研究科 教授・定金 正洋	理・工(材料系)
第2期(継続)	26	27	スマートバイオセンシング融合研究拠点	Integrated Research Center for Smart Biosensing	統合生命科学研究科 教授・黒田 章夫	理・工(材料系)
第2期(継続)	26	27	日本食・発酵食品の革新的研究開発拠点 - 日本食の機能性開発センター -	The Research Center for Japanese Foods	統合生命科学研究科 教授・島本 整	理・工(生物系)
第1期(継続)	25	26	緊急被ばくに即時対応できる再生医療研究拠点	Center for Regenerative Therapy for Immediately Responsive to Radiation Emergency Medicine	原爆放射線医学研究所 教授・東 幸仁	医療系

令和元年 6 月 25 日

大学院教育学研究科日本語教育学講座創設 30 周年記念出版
『日本語教育へのいざないー「日本語を教える」と
いうことー』を出版

2016 年に創設 30 周年を迎えた大学院教育学研究科日本語教育学講座が、記念事業の一環として、この度、一般向けに『日本語教育へのいざないー「日本語を教える」ということー』を出版しました（凡人社、定価 1,600 円）。

同講座の学部・大学院を卒業・修了して国内外の日本語教育機関で活躍している 23 人による共同執筆で、日本語教育現場でどのようなことが行われているか、日本語教師になるにはどうしたらよいかなど、一般にはなじみの薄い日本語教育の世界を紹介しています。日本語教育は、我が国の喫緊の課題である「海外人材の受入れ」とも直結するトピックでもあり、進路を考えている高校生を始め広く一般の方々に読んでいただければ幸いです。

【お問い合わせ先】

大学院教育学研究科日本語教育学講座事務室
TEL:082-424-6880 FAX:082-424-5245

令和元年 6 月 25 日

体育会剣道部が西日本女子学生剣道大会で
創部以来初の準優勝を果たしました

5 月 25 日（土）、26 日（日）に福岡県久留米アリーナで第 64 回西日本学生剣道大会及び第 34 回西日本女子学生剣道大会が開催され、男子はベスト 16、女子は準優勝という結果を残しました。

なお、女子優秀選手に主将の下宮朋華（教育学部 4 年）が選出されました。

また、出場大学は東海、関西、中四国、九州、沖縄より、男子計 101 チーム、女子計 88 チームでした。

本大会における準優勝は広島大学剣道部創部以来男女通じて初の快挙です。中四国の大学としても、34 回に上る西日本女子学生剣道大会の歴史において決勝進出はこの度の広島大学女子剣道部が初となりました。

【九州学生剣道連盟 HP 参照】

<http://kyugakuren-kendo.com/>



男女剣道部員と監督

【お問い合わせ先】

広島大学体育会剣道部監督 大石原 匠
TEL：082-257-5973 FAX：082-257-5615

令和元年6月25日

広島大学タマチラボ「“ゲノム編集”で未来社会を拓く」の
第1回「ゲノム編集技術の限りない可能性」を開催します

2018年12月から始まった、広島大学の研究者と社会を繋げる「広島大学タマチラボ」の新しいシリーズを開催します。

「“ゲノム編集”で未来社会を拓く」と題して、広島大学の強みであるゲノム編集技術に関する取り組みを紹介し、ゲノム編集の可能性について全4回のセミナーでわかりやすく解説します。

参加は無料で、一般の方にもご参加いただけます。ゲノム編集技術の開発と産業利用などに興味を持つ皆様のご参加をお待ちしています。

記

【日時】令和元年7月2日（火）18時00分～18時45分

【会場】キャンパス・イノベーションセンター東京
リエゾンコーナー509

〒730-0053 東京都港区芝浦3-3-6

【テーマ】「ゲノム編集技術の限りない可能性」

【対象】首都圏を中心とした企業・行政機関のご担当者、広島大学出身者、ご関心のある一般の方々

【講師】広島大学大学院統合生命科学研究科 山本 卓教授

【申込方法】申し込みフォーム(<https://forms.gle/DeKSwNCapanipfnQ9>)に必要事項を入力いただくか、下記の内容を電話かメールでご連絡ください。当日参加も受け付けます。情報交換会参加ご希望の方は事前にお申込ください。

1. 参加者氏名（漢字・ふりがな）
2. ご所属（勤務先など）
3. 連絡先（電話番号・Eメールアドレス）
4. 情報交換会参加の有無
5. メール配信希望の有無

（希望「有」と回答いただいた方には、本プログラムの活動やイベントのお知らせなどの各種情報を、ご登録いただいたメールにお届けします。）

【申込先】広島大学コラボレーションオフィス

TEL：082-424-4676

E-mail：leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

【お問い合わせ先】

広島大学コラボレーションオフィス

E-mail: leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

“ゲノム編集”で 未来社会を拓く



ゲノム編集は、食糧問題、エネルギー問題や病気の治療など人類の問題を解決するまさに夢の技術です。

ゲノム編集技術の“今”と“未来”について、広島大学の研究者があなたの知りたいに答えます。

全4回のセミナーです（1回のみ参加も可能）。

**参加費
無料**

会場

キャンパス・イノベーションセンター東京
リエゾンコーナー509（東京都港区芝浦3-3-6）

第1回

2019年

7月2日 火

18:00～18:45 講演会

19:00～20:00 情報交換会（会費制:1,000円）

※講演会のみ、情報交換会のみ参加も可能です。



演題

ゲノム編集技術の限らない可能性

講師

山本 卓

（広島大学大学院統合生命科学研究科 教授）

お申し込み

申し込みフォーム（<https://forms.gle/DeKSwNCqpnipfnQ9>）
に必要事項をご入力ください。

■ 2018年度文部科学省「卓越大学院プログラム」採択



ゲノム編集先端人材育成プログラム
The Frontier Development Program for Genome Editing

＜お問い合わせ先＞

広島大学コラボレーションオフィス **TEL** 082-424-4676 **MAIL** leading-program@office.hiroshima-u.ac.jp

＜共催＞産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）